

高松高等学校130周年記念事業の御案内

玉翠会員の皆様へ

いつもお世話になっております。実行委員長を仰せつかっております昭和54年卒の佐藤 哲也と申します。「実行委員長」と言う役職ではありますが、実際に日夜会議を重ね汗を 流して実行しているのは50才代40才代の地元の若手?委員達であり、私の役目はもっぱら PR係であることとなにか粗相があったときのおしかりを受ける役であります。大先輩の 皆様方、これからの玉翠会のためにも、彼ら後輩達を見かけましたら、影になり日向にな り支援応援して頂ければと思います。周年の今年はコロナ禍の名残で準備が中途半端にな ることを懸念して、来年に繰り越して高松での大懇親会を予定しております。とりあえず 今は**「来年の8月10日の土曜日」**を皆様の予定表と心とに刻んでおいて下さい。来年 の8月10日、8月10日をよろしくお願いいたします。

高松高等学校創立130周年記念事業実行委員会 委員長 佐藤哲也



		楽しみいただければ幸いです。その折には、	げる予定です。ここ三年間はコロナ禍で非公
ご挨	拶	発中のナノポート高公らご見学くごさい。大香川県の発展に大きな影響を与える現在再開	度は一受公開とする予定ですので、玉翠谷こ開や限定公開としてきた文化祭ですが、今年
	玉翠会会長間島賢治	西万博の開	よる『玉翠庵』も復活し、同窓生の集いの場
	1 1	成予定です。	となる教室展示を催す計画と伺っております。
「玉翠会報」発刊にあたり、会員の皆様に	高松高校は、本年創立一三〇周年を迎える	さて、過去創立百周年の折には、創立百周	一方、十年ごとに発刊してまいりました記
おかれましては、日頃より当会の運営に関し	ことになります。九月の記念文化祭、十月の	年記念玉翠会教育基金が設立されました。毎	念誌につきましては、今回は冊子の刊行は行
て多大なるご支援、ご協力を賜り、厚くお礼		年、皆様からお振込みいただく年会費の中か	わず、玉翠会のHP上での限定公開の形を取
申し上げます。	奏会等の開催が予定されています。玉翠会と	ら二〇〇万円程度を同教育基金に繰り入れし、	らせていただきます。詳細は会報の記事をご
本年三月三日に母校の卒業式が開催され、P	しての創立一三〇周年事業は、記念誌発刊と	現役生徒にほぼ同額の奨学金を助成させてい	覧ください。
TA会長として挨拶して以来、久し振りに参列	祝賀会を計画しています。記念誌は、今回か	ただいています。このことを知った先輩から、	また、例年十二月に『第九演奏会』を行っ
させていただきました。卒業生の答辞では、伝	らデジタル版として玉翠会ホームページに十	奨学金にと匿名でご寄付をいただき本当に感	ておりますが、今年度はこれも記念事業とし
統的にお世話になった諸先生方の紹介が非常に	月末頃の掲載を予定しています。祝賀会につ	謝した次第です。微力ではございますが今後	て、オーストラリアのメルボルンから来日す
愉快で厳粛な中にも和やかな卒業式でした。	いては、新型コロナウイルスの影響も考慮し	とも努力して参りたいと存じますので、これ	る高校生の弦楽団約五十名を交えての合同演
五月二十七日土曜日には高松高校五階玉翠	て、来年八月十日開催に決定しました。従来	からも皆様の変わらぬご支援、ご協力をお願	奏会とする予定です。加えて、朝比奈千足氏
会館ホールにて理事会並びに代議員会を開催	の文化祭の頃からお盆の時期に変更して、県	いいたします。	(朝比奈隆氏のご子息)による客演指揮もお願
し、その後、久し振りに懇親会も開催し旧交	外の皆様も参加しやすい時期にしました。是	最後になりましたが、会員皆様の益々のご	いをしているところです。こちらは観客の生
を温めました。	非、高松に帰省いただき旧友との同窓会をお	健勝、ご多幸を祈念申し上げます。	徒の安全面などを考慮して保護者対象の限定
			公開とする予定ですが、詳細は今後決定して
			本校のHP等にて後日お知らせいたします。
)) ご 笑 拶	岁	念事業を計画しております。	これら十年に一度の周年事業を通じて、本
	41	創立一三〇周年記念式典は、十月三十一日	校に脈々と流れる伝統の豊かさや玉翠会の皆
高い	高松高等学校長 中 筋 功 雄	(火)に本校体育館にて行いますが、これまで	様の並々ならぬ本校へのご期待の実相を現役
		と異なり教職員と現役の生徒だけで行う校内	の生徒に伝えることで、一千余の健児らが堅
今年も盛夏の候を迎えようとしております	学校より改称した香川県高等女学校から始ま	行事とさせていただきます。この式典に続け	忍不撓の功を遂げ、屋島の山頭よりも高く名
が、玉翠会員の皆様には益々ご清祥のことと	ります。この年から数えて本年は一三一年目、	て先輩講演会を開催することとし、今回は昨	誉の旗をひるがえす、そんな本校の更なる飛
お慶び申し上げます。また、平素より本校の	創立一三〇周年という記念の年を迎えます。	年香川県知事に就任された池田豊人様に講師	躍のよすがとしたいと考えております。
教育諸活動に様々な面でご理解とご支援を賜っ	これまで、十年ごとの節目の年には、玉翠	をお願いしております。こちらは玉翠会の皆	結びになりますが、玉翠会の益々のご盛会
ておりますことに厚くお礼申し上げます。	会の多大なご支援をいただきながら創立記念	様にもご案内する方向で計画しております。	並びに会員各位の今後のご健勝をお祈りし、
さて、会員の皆様もご存じの通り、本校の	事業を開催してまいりました。今回もこれま	遡って九月九日(土)・十日(日)に開催す	あわせて本校への変わらぬご厚情を賜ります
歴史は明治二十六年(一八九三年)に設立さ	でと同様に、玉翠会の間島会長をはじめ玉翠	る文化祭も創立記念文化祭とし、昨年度に制	ようお願いを申し上げ、ご挨拶といたします。
れた香川県尋常中学校と、同年に私立進徳女	会の皆様と協議をしながら、以下のような記	定したシンボルマークを活用しながら盛り上	

(第 44 号)		玉翠会報	令和5年7月8日 発行(4)
	/////// E	翠会役員	
(副会長兼事務局長) (副会長兼事務局長) (副会長、大雄) (副会長, 大雄) (副会長, 大雄) (副会長, 大雄)	(事務局長) (副会長) (Image) (Image) <th></th> <th></th>		
(配) (回) (O) (O) </th <th>(調会長兼事務局長) (調会長東会計) (副会長東会計) (副会長東会計) (副会長東会計) (副会長東会計)</th> <th></th> <th>(常任副幹事長) 「常任副幹事長) 「常任記」幹事長) 「常任記」幹事長) 「副会長」 「副会長」 「副会長」 「副会長」 「副会長」 「副会長」 」 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一</th>	(調会長兼事務局長) (調会長東会計) (副会長東会計) (副会長東会計) (副会長東会計) (副会長東会計)		(常任副幹事長) 「常任副幹事長) 「常任記」幹事長) 「常任記」幹事長) 「副会長」 「副会長」 「副会長」 「副会長」 「副会長」 「副会長」 」 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
員名簿 ・村川 静夫・木内 正夫・渡邊	太田 英章・今澤 暉子・大塚 裕康・吉田 総本 寿・森下 聖史・稲田 耕一・吉田 総司 た田 謙作・中村谷百則・細谷 芳久 大田 賀久・中 博史・小島 英子・吉岡 哲朗 御子・七野 準一明石 陽子・上野 準一明 た田 賀久・中 博史・小島 英子・吉岡 哲朗 二・徳永 孝明 二・徳永 孝明 御兄 まん 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一		\widetilde{K} \widetilde{K}
裕美・松岡 敬三・片山 進亮・佐藤 町人・有家 孝一・松村佐知子・天野雄 で、田中 里佳・宮武 伸字・田辺 町人・有田部 香男・入門 美穂・安田 で、三、大輔・真鍋 で、一、大輔・真鍋	美智子・松井 勝也・和田 朝子・別宮 第十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	費正破一, 電子, 電子, 電子, 電子, 電子, 電子, 電子, 電子	部会 笠井 愛榮・熊野 弥生・秋山 南会 笠井 愛榮・熊野 弥生・秋山 南子・大西山 恵美子・西山 市子・吉田山 第一期・一丁 二子・大町 二年井 二年井 二年 二年 二年 二年 二年 二年 二年 二年 二年 二年
並崎 下 席 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 ・ 市 市 ・ 二 ・ に 、 二 ・ に 二 ・ に 二 ・ に 二 ・ に 二 ・ に 二 ・ に 二 ・ に 二 ・ に 二 ・ に 二 に 、 二 ・ に 二 に 二 に 二 い 二 で ・ に 二 ・ に 二 ・ に 二 ・ に 二 ・ に 二 ・ に 二 い 一 本 、 い 二 で ・ 二 に 一 、 一 、 一 、 一 、 で ・ 二 に 二 、 二 ・ 二 、 二 ・ 一 、 二 ・ 一 、 一 、 一 、 一 、 二 ・ 一 、 二 、 一 、 一 、 二 ・ 一 、 二 、 一 、 一 、 一 、 二 ・ 一 、 二 、 一 、 一 、 一 、 二 ・ 一 、 、 、 、 、 、 、 二 ・ 一 本 、 、 、 、 、 、 二 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	保麻依子・中田 雄太・水谷 未彩・山田 熊 彩香・大西 隆太・亀田 真実・溝渕 武川万須美・谷口 絢香・藤澤 理絵・山田 たっ一治・河田 晃典・上田 慶子・管井 昭・香西 辰也・白石 大輔・泉川祐理子・江本 愛・坂東 して 泰啓・植村ちひ 大輔・泉田 芳美・稲葉 沙織・上田 雄士の東 がして 大都 での がして たい での での での での での での での での での での	田 福 和 石 本 二 本 本 本 六 久 ・ 繁 · 市 中 山 見 田 中 和 和 見 二 · · 本 本 本 · · 市 田 中 和 和 見 · · 世 日 一 和 和 五 · · 市 田 中 和 和 見 · · 西 田 中 和 和 見 · · 西 田 中 和 和 見 · · 西 田 中 和 和 見 · · 一 · 二 · · 中 山 助 一 · 一 · 一 · 一 · 一 · 一 · 一 · 一 · 一 · 一 · 一 · 一 · · · · · · · · · · · · ·	田牧富寒橫野杉辻橫賀笹山千齋長 村 永川井口村 井須島下葉藤町 冬美直大涼愛眞暁健悠正大一直 人柚樹成亮心子里二莉豊輔孝樹篤 • • • • • • • • • • • • • • • • • • •

玉翠 会 報

令和5年度 玉翠会事業計画

4 12 4 24		会計監査	
4 24	1 8		5 階会議室
	+ 乃	玉翠会 会長・副会長会	1階会議室
5 20) 土	東海玉翠会総会	名鉄グランドホテル
		玉翠会 教育基金運営委員会	5 階会議室
5 2	7 ±	玉翠会 理事会・代議員会	5 階玉翠ホール
		玉翠会 懇親会	JRホテルクレメント高松
7 7	金	第1回玉翠グローバルアカデミー(GGA) S55卒 田村正之氏 (日本経済新聞社編集委員)	5 階玉翠ホール
7 8	1 ±	玉翠会報 第44号発行	
7 8	土	東京玉翠会総会	オンライン開催
9 9.	10 土•日	記念文化祭(玉翠庵お休み処: H6卒主管)	高松高校
9 23	3 ±	徳島玉翠会総会	ザ・グランドパレス
10 28	3 ±	関西玉翠会総会	リーガロイヤルホテル大阪
10 :	未定	創立130周年記念誌発刊	玉翠会ホームページに デジタル版掲載
10 3	1 火	第2回玉翠グローバルアカデミー(GGA)記念先輩講演会 S55卒 池田豊人氏(香川県知事)	体育館
11 19) 日	岡山玉翠会総会	アークホテル岡山
1 :	未定	玉翠会 会長・副会長会	1 階会議室
3 5	火	卒業式	体育館

創立130周年記念事業準備委員会(記念誌発刊・祝賀会)

令和5年度 玉翠会会計収支予算書

〈収入の部〉		〈支出の部〉	
科目	金額	費目	金額
玉翠会会費	7,000,000	本部運営費	4,230,000
玉翠会入会金	718,200	支部運営費	950,000
受取利息	0	卒業生記念品料	130,000
雑 収 入	0	退職積立預金繰入支出	200,000
収入の部合計	7,718,200	創立百周年記念玉翠会教育基金会計繰入支出	2,000,000
		創立130周年記念事業準備金	0
		予 備 費	200,000
		支出の部合計	7,710,000
		当年度収支差額	8,200
		前年度収支差額	31,595,464

令和5年度創立百周年記念玉翠会教育基金収支予算書 令和4年度創立百周年記念玉翠会教育基金収支決算書

次年度収支差額

31,603,664

〈収入の部〉		〈文出の部〉
科目	金額	費目金額
玉翠会会計より繰入収入	2,000,000	奨学金 1,800,000
受取利息	0	教育活動費 100,000
雑 収 入	0	支払手数料 10,000
収入の部合計	2,000,000	支出の部合計 1,910,000
		当年度収支差額 90,000
		前年度収支差額 22,311,114
		次年度収支差額 22,401,114

令和5年度	甲子園出場記念教育基金収支予算書
m ++17)	

令和 5 年度 〈収入の部〉	甲子	甲子園出場記念教育基金収支					予算書		
科目	金	額		費		目		金	額
受取利息	í	0	教	育	活	動	費		0
収入の部合計	-	0	支	払	手	数	料		550
					の音	阝合	計		550
				当年	E度収	又支え	£額	\triangle	550
				前年	E度収	又支え	£額	6,4	411,063
				次年	- 度収	又支剤	皇額	6,4	410,513

令和5年度 創立130周年記念事業収支予算書

_ 〈収	入の部	\rangle				_ 〈支	出の	部〉				
	科	目		金	額		費		目		金	額
繰	入	収	入		0	記	念	誌	作	成	1,	120,000
受	取	利	息		0	祝		賀		会		30,000
収	入の	部 合	計		0	予		備		費		339,358
						支	支出の部合計			1,	489,358	
							当年度収支差額				Δ1,	489,358
							前年度収支差額				1,	489,358
							次年	三度収	マ支え	額		0

令和4年度 玉翠会事業報告

			〒和4年度 玉卒云争未報1	-
月	Ξ	曜	事 業 名	会場
4	12	火	会計監査	5 階会議室
4	25	月	玉翠会 会長・副会長会	1 階会議室
5	28	±	玉翠会 教育基金運営委員会	5 階会議室
0	20	-	玉翠会 理事会・代議員会	5 階玉翠ホール
中止		_	玉翠会 高松懇親会	
F	μ	-	徳島玉翠会総会	
7	8	金	第1回玉翠グローバルアカデミー(GGA) H11卒 小河恵理氏(字幕翻訳家)	体育館(非公開)
7	9	H	玉翠会報 第43号発行	
7	9	±	東京玉翠会総会	オンライン開催
9	10•11	土・日	文化祭 ※玉翠庵お休み処(H6卒主管)は中止	高松高校(限定公開)
F	μ	_	東海玉翠会総会	
10	9	Η	関西玉翠会総会(ハイブリッド開催)	ザ・リッツカールトン大阪
11	16	水	第2回玉翠グローバルアカテミー(GGA)先輩講演会 S58卒 大内淑代氏 (岡山大学大学院教授)	体育館(非公開)
11	20	Π	岡山玉翠会総会	アークホテル岡山
2	6	月	玉翠会 会長・副会長会	1 階会議室
3	3	金	卒業式	体育館
創	tt 130)周在	記念祝賀会キックオフミーティング	グ 10/19

創立130周年記念祝賀会キックオフミーティング 10/19

令和4年度 玉翠会会計収支決算書

〈収入の部〉		〈支出の部〉	
科目	金額	費目	金額
玉翠会会費	7,065,954	本部運営費	3,893,535
玉翠会入会金	931,600	支部運営費	352,380
受取利息	. 368	卒業生記念品料	131,725
雑 収 入	. 18,150	退職積立預金繰入支出	200,000
収入の部合計	8,016,072	創立百周年記念玉翠会教育基金会計繰入支出	2,000,000
		創立130周年記念事業準備金	1,500,000
		予備費	0
		支出の部合計	8,077,640
		当年度収支差額	△ 61,568
		前年度収支差額	31,657,032
		次年度収支差額	31,595,464

〈収入の部〉		〈支出の部〉
科目	金額	費目金額
玉翠会会計より繰入収入	2,000,000	奨学金 1,800,000
受取利息	270	教育活動費 0
雑 収 入	1,000,000	支払手数料 7,260
収入の部合計	3,000,270	予備費0
		支出の部合計 1,807,260
		当年度収支差額 1,193,010
		前年度収支差額 21,118,104
		次年度収支差額 22,311,114

令和4年度 甲子園出場記念教育基金収支決算書

額 金

429,330

429,880

△ 429,767

6,840,830

6,411,063

550

_ 〈収入の剖	3>			_ <‡	z出の)部〉		
科	目	金	額		費		目	
受取	利 息		113	教	育	活	動	費
収入の	部 合 計		113	支	払	手	数	料
				支	出	の音	阝合	計
				当年度収支差額				詎額
					前年	F度収	又支え	誈額
					次年	F度収	マ支え	詎額

令和4年度 創立130周年記念事業収支決算書

〈収入の者	郛〉		C 113				出の					
科	目		金	額		j	費		目		金	額
繰 入	収	入	1,	500,000		記	念	誌	作	成		1,902
受 取	利	息		5] [祝		賀		圴		8,745
収入の)部合	計	1,	500,005		支	出(の 部	了合	計		10,647
							当年	度収	マ支き	額	1,	,489,358
					ſ		前年	度収	マ支き	額		0
							次年	度収	マ支き	額	1	,489,358

された。また、削欠百三十周年り己念再巻とり、時代と共に変化してゆく学校の現状を話行われた卒業式での答辞で変わらぬ高高生ら行われた卒業式での答辞で変わらぬ高高生らり、ます間島会長から抜拶かあった。三月に		開会に先立ち、昨年度ご逝去なさった百三	しご	高会長挨拶	高松高等	ルにて百十三名の出席をもって開かれた。	今年度創立百三十周年を迎え、記
Image: state sta	 中国 <li< th=""><th></th><th>しずつ解かれ、学校行事等でコロナ禍前の状続いて中筋校長からコロナ禍での制限が少ご挨拶いただいた。</th><th>田譲治会長、徳島玉翠会から長尾哲見会長に玉翠会から森泰藏副会長、岡山玉翠会から多務局長、東海玉翠会から入倉憲二会長、関西次に、各地区より東京玉翠会から土田充事</th><th>た。 八月に祝賀会を予定していることが報告されして今年度記念誌を作成することと、来年の</th><th>午後二時三十分より高松高校五階玉翠ホー</th><th>迎え、記念事業の準備が進む。</th></li<>		しずつ解かれ、学校行事等でコロナ禍前の状続いて中筋校長からコロナ禍での制限が少ご挨拶いただいた。	田譲治会長、徳島玉翠会から長尾哲見会長に玉翠会から森泰藏副会長、岡山玉翠会から多務局長、東海玉翠会から入倉憲二会長、関西次に、各地区より東京玉翠会から土田充事	た。 八月に祝賀会を予定していることが報告されして今年度記念誌を作成することと、来年の	午後二時三十分より高松高校五階玉翠ホー	迎え、記念事業の準備が進む。
十七日に一○八歳で逝去されました。 玉翠会顧問を昭和六十三年よりお務めく	様からのご寄付と、関西玉翠会からの寄付金玉翠会事務局からは昭和二十九年卒同窓会	に周知していただきたいとのご依頼があった。 理事・代議員の皆様にも同学年の会員の方々 十才前後の方々を中心に準備を行っており、	があった。そこでは、来年の祝賀会に向けて事業について佐藤哲也実行委員長からご報告審議は以上で終わり、創立百三十周年記念	翠会会計等収支予算案が承認された。 次に昨年度と変わらぬ役員で運営されるこ(5P参照)	あり、事業、会計ともに拍手で承認された。計等収支決算報告、中村監事より監査報告がれた。事務局より前年度事業報告、玉翠会会	議事は会則に従い、間島議長のもと進めら葉が述べられた。	取り組んでいる人道支援プログラムにおいて支援により記念誌を発刊できることと、現在た、今年度創立百三十周年を迎え、玉翠会の況を取り戻しつつあることが述べられた。ま
していたので、 したのご 早し上げます。 ・ ・ ・ たっ ・ ・ 、 長きにわたりご 尽力くださいました。 ・ ・ 、 した。 ・ ・ 、 した。 ・ 、 した。 ・ 、 した。 ・ 、 、 も にわたりご 尽力くださいました。		The second s	親会		事も駆けつけた。	その後十七時から懇親会がJRホテルクレ度玉翠会理事会・代議員会を終えた。	九演奏会を予定していることが報告された。記念文化祭、記念式典と記念講演会、記念第また、学校からは創立百三十周年にあわせた

められる場所を提供する新しい形の総会が開



催されております。	分野でご活躍されている先輩・後輩のショー
当日のアクセス者数は一一八七人と大盛況。	トスピーチ企画等の催し物をご観覧頂ける形
その後も全国各地の高校OB会より「どうやっ	式となっております。
てオンラインでこんなに人を集めることがで	また、オンラインのため、住んでいる場所を
きたのか?」等々ヒアリングが来るほどの盛	も参加を募
り上がりを見せております。	ます。依然なかなか大人数の同窓生で集まる機
さて、その史上初のオンライン同窓会から	会も少ない昨今かと思いますので、この機会に
二年たち、現在の東京都内ではコロナの五類	同窓生や卒業生同士の繋がりを深める機会とし
指定も解除され街には人が戻ってまいりまし	て頂ければ幸いと願っております。
たが、依然、一か所に大人数で集まることへ	世の中の変化が激しい時代となっております
の抵抗感や危険性も存在する状況です。東京	が、皆様の健康とご多幸をお祈り申し上げます。
玉翠会関連イベントでも、大人数での開催が	今後とも東京玉翠会を宜しくお願い致します。
殆ど開催できない状況が続いております。毎	第四十一回幹事団代表
年恒例となっている人気のイベントも開催中	厚井 久弥(平成十年卒)
止・見送りが続いており、同窓会活動を含め	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~
た交流の場が少なくなってしまっております。	
ただそんな中でも、俳句を詠みあう「にくの	「東海王婆会」
や東京の名所を巡る「	
ど徐々にではありますが、元の活動が復活し	し言
つつあります。	
第四十一回目となる今年の総会に向けて、	(昭和四十四年卒)
昨年末より、幹事学年である私達平成十年卒	
のメンバーは、毎月オンライン等で集合し、	東海玉翠会第十四回総会・懇親会を五月二
開催方式について様々な議論を行いました。	十日に開催しました。今回は、ご来賓六名、
当初は会場開催もなんとか出来ないかと検討	会員二十八名、合計三十四名の参加となりま
しましたが、今後の流行等がどうなるか不透	した。
明という点もあり、参加者の安心・安全を第	ご来賓として、中筋校長、間島玉翠会会長
一優先として、今年も七月八日にオンライン	ならびに東京玉翠会・関西玉翠会・岡山玉翠
開催とさせて頂くことになりました。題して	会・徳島玉翠会の役員にご出席いただき、母
「発見!東京玉翠会~CHANGE CHANCE~」	校や本部、各支部の近況についてお話しをい
をテーマに準備を進めております。	ただきました。
前回同様「スペイシャル・チャット」とい	今年は、四年振りの開催ということもあっ
うオンラインサービスを利用して、各学年の	て皆さん話が弾み、楽しんでいただけたよう
同窓生同士での懇談を自由に楽しみつつ、各	です。コロナ禍において、仕事でもプライベー



にも少しずつですがコロナ以前の日常生活に戻	「現しました。 にチャレンジし、時代の懸け橋となれ!サブ
りつつあります。岡山県ではその累積感染者数 して来ました。既に東海玉翠会総会は対面にて 開催されましたが、東京は今年もオンライン開 催されましたが、東京は今年もオンライン開 催されましたが、東京は今年もオンライン開 ん。昨年の玉翠会報では、エイズ、エムポック ス(サル痘)、小児の急性肝炎に触れましたが、 エムポックスは国内でも少しずつ増えており、 この数年は梅毒もかなり増加しております。また	テーマは $ ^$ 『連托生』で!とにかく力を合わせてやってみよう! $ ^$ 。平三卒が新旧校舎の懸け橋となる年次であったことから、過去から先輩たちが繋いできた「時代」「伝統」 「歴史」を感じながら、平三卒らしさの創造に キャレンジし明日の未来を思い描きつつ、しっかりと次の年次に「幹事年度の襷」を繋げて いきたいという思いが込められています。 したスクリーンにリモートの参加者と一緒にスクリーンにリモートの参加者と一緒にスクリーンに見て玉翠会会報(第二 市大号)を配布。第一部総会は、中央に設置 したた。 「朝一部の総会は、亡くなられています。 それた会員の方々への黙 られた会員の方々への黙 今、来賓を代表して玉翠会本部 間島賢治会長 (昭四十七卒)のご挨拶、そして二〇二二年九 月に香川県知事に就任された池田豊人知事 た t たん(左)、沖本さん(右)
ご来賓の皆様と池田香川県知事の動画 ご来賓の皆様と池田香川県知事の動画 事閉会となり上のした。 ご挨拶される中筋校長先生	宝
	(二〇二二年度関西で楽しの子をいめたは、 一年のので、 「「「」」」、 「二年度関値の予定」 「「」」、 「二年度関西で、 「二年度 「二年で、 「二二年で、 「二二二年で、 「二二二年で、 「二二二年で、 「二二二年で、 「二二二年で、 「二二二、 「二二、 「二二、 「二二二、 「二二、 「二二、 「二二、 「二二、 「二二、 「二二、 「二二、 「二二、 「二二二、 「二二、 「二、 「



H3卒幹事と当日お手伝いいただいた同級生 H4卒幹事の皆様

レースの しております。新型コロナウイルス感染 しております。新型コロナウイルス感染 しております。新型コロナウイルス感染 しております。新型コロナウイルス感染 しております。新型コロナウイルス感染 しております。新型コロナウイルス感染 しております。新型コロナウイルス感染 しております。新型コロナウイルス感染 しております。新型コロナウイルス感染 しております。新型コロナウイルズ感染 にないるご客付をないたしますとともに、岡 二十周年の祝賀の言義を込めた記念誌の こているご客付を留に、 にいているご客付を留定、 いているご客付を留定、 たでの高松高校創立一三〇周年祝賀 したいと思えております。 の 本年令和六年八月十日、JRホテルク 「高松での高松高校創立一三〇周年祝賀 したいと思えております。 本年令和六年八月十日、JRホテルク 「高松での高松高校創立一三〇周年祝賀 したいと思います。 本年令和六年八月十日、JRホテルク 「高都在住の卒業生の方より 玉翠会から学校へ毎年い たいと思 な な たいと思 たいと思 本 たいと思 たいと思 本 たいただきます。 の ありがとうございました い 玉翠会へ多額のご寄付をいただきました。 玉翠会、多額のご寄付をいただきました。 玉翠会、多額のご寄付をいただきました。 玉翠会、多額のご寄付をいただきました。 玉翠会、多額のご寄付をいただきました。 玉翠会、多額のご寄付をいただきました。 玉翠会、多額のご寄付をいただきました。 玉翠会、多額のご寄付をいただきました。 玉翠会、多額のご寄付をいただきました。 玉翠会、多額のご寄付をいただきました。 玉翠会、多額のご寄付をいただきました。 玉翠会、多額のご寄付をいただきました。 玉翠会、多額のご寄付をいただきました。 玉翠会、多額のご寄付をいただきました。 玉翠会、多額のご寄付をいただきました。 玉翠会、多額のご寄付をいただきました。 玉翠会、冬日、 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本





運動の軌跡 陸上競技部 、 大 テ 、 大 テ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	今和4年度 先輩講演会 「医療と医学研究、人類の幸せを求 方でーバルテ た内 新学会理事としてもご活躍されてい る大内淑代氏にお越しいただき、医師 の資質として大切なことや、現在研究 の教生医学について詳しくお た内氏は同じく医学の がローバルテ かデミー」 (略称GGA) が開催された。 う回は、日本 の新子にも志 たの時に強調さいただいた。 たの氏は同じく医学の た内氏は同じく医学の たった。特に強調さい たたのは、同本 の紙び」についてで なった。特に強調さい たたいうことだった。こ たった。特に強調さい たたいかに たの 文で健康を回復した曲 びたけが医師の紙びで たった。ちった。特に強調さい たたいたで たった。 たいうことだった。 たった。 たった。 たいうことだった。 たった。 たの たて たの たて たの たて たの たて た で た の た た の た た の た た の た た の た た の た た の た た の た た の た た の た で で で の た の た
 > ><th>ロ マ は い お た の 間 和 五 十 八 年 卒 の に や 日本の解 割 さ れた中で、特に印 印 御 の 治 明 し て 答 え の 同 い に や 日本の解 割 で し て ち 志 れた 中で、 ち に や 日本の解 割 で し て 答 た の 間 い に か 」 と は 何 か 」 の 一 胡 蝶 の 寄 」 に や 日 本 の 解 割 で し て 答 え て よ れた 中で、 大 氏 、 、 、 た 氏 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、</th>	ロ マ は い お た の 間 和 五 十 八 年 卒 の に や 日本の解 割 さ れた中で、特に印 印 御 の 治 明 し て 答 え の 同 い に や 日本の解 割 で し て ち 志 れた 中で、 ち に や 日本の解 割 で し て 答 た の 間 い に か 」 と は 何 か 」 の 一 胡 蝶 の 寄 」 に や 日 本 の 解 割 で し て 答 え て よ れた 中で、 大 氏 、 、 、 た 氏 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
 >個人Hペ >三位 ○四二〇級 ○四二〇級 三位 二位 市 一生 大樹 	「世のため人のために役立つ医学的発 したという。学力があるから、高収 見」だという。学力があるから、高収 たな人も少なくないだろう。しかし大内 た。どれほどの知識や名誉を得ても た。どれほどの知識や名誉を得ても た。どれほどの知識や名誉を得ても た。どれほどの知識や名誉を得ても しかしただいた真摯にお話しくださっ た。そのような人になりたいと感じた生徒 たのような人になりたいと感じた生徒 たのような人になりたいと感じた生徒
文化部の軌跡 ○個人フルレーン ○個人フルレーン ○個人スペーノーレン 金賞 ○二二 三二一二 三二一二 二二一二 二二 金賞 ○二九 ○二十 ○二十 ○二十 ○二十 素素 ○二二 二二 三二 二二 二二 ○二 金賞 ○二 二二 三二 二二 二二 二 二 金賞 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 金賞 ○	玉翠云 安美
▼個人 ○個人 <td>着 一池 一池 一池 一花 一花 一花 一花 一花 一花 一花 一花 一 本 の よ の で 旅 き き ・ で ま ま し い る 所 で 変 た 。 た ま ま し し 、 の で で た っ た ま ま し し し し し し し し し し し し し</td>	着 一池 一池 一池 一花 一花 一花 一花 一花 一花 一花 一花 一 本 の よ の で 旅 き き ・ で ま ま し い る 所 で 変 た 。 た ま ま し し 、 の で で た っ た ま ま し し し し し し し し し し し し し

(13)	3)	令和	5年7	月8日	日発	衍						王		翠	riy T	슲	報												(第	44	号)
事 務 吉村		事 時間講師	時間講師 宮本	時間講師 真鍋	時間時時 黄江 ぞく 三本松高校代替講師	教 諭 野口 佑太 1	教 諭 森 裕昭 坂出高校より教 諭 松下 恵介 丸亀城西高校より	諭笹島正豊小豆島中央高校。	俞	教 頭 橋本 博之 医陸軍金高陸総推進長援生5 教 頭 近藤 雅和 高松高校定時制教彧より	親・転入		. 事務 臼杵 延枝 聴覚支援学校事務部長へ	時間講師 和田濱郁花 退職	時間講師 川東 拓斗 坂出工業高校へ	時間講師 篠原 賢太	寺間講師 二	中條 尚哉 善通寺第一高校へ(期付講	用教諭 藤本 賢治	教 諭 久保 博信 丸亀高校へ 教 諭 向原 成剛 高松桜井高校へ	諭 志原 正敏	諭(佐々木朋子)・	俞訴	俞 牛日 約	前方が予重していていた。	牧 俞 藤田 右 昼畿 罰公罰交(耳壬用ァレ) 孝 誦 楢 椿 刖 戸彦 〕 瓏 蒿松蒿杉(稈白月 「ハ」	《前二節》、一貫、「「」」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「	「白、 許ら」 「豆、 B.C. 「おこ」「おこ」、 「白、 許ら」 「豆、 B.C.」		教職員人事異動	令和五年
~	~		·····	~~~~ =1 ÷	~~~ + ==	~~ ^ ·	~~~~~	~~~~	~~~~ 4	~~~~	~	 5 3	 E	~~ 度	~~~	~~~ 大	 :学		 ₹*	~~~ 各者	~~~ 舌娄	~~~ \$	~~~	~	~	~~~ (\ 1	~	~~~	~~~		
	·	<u>国</u> ・ 学	<u>公・</u> 校	<u>私リ</u> 名	入 列 人数		格者 都 学	议 校	名			_	■ • 学	校		名	人类				校	へ 名		人数			刊 5 学	年 4 校	<u>月5</u> 名	1	も仕) 人数
		 北 海		一大	4	-	香	 川	 大			ž	-	<u>1</u> 又 手	医	<u>一</u> 大	1	X	東	-	<u>収</u> 洋	 大	_	3		佛	<u>۲</u>	<u>1</u> 教		大	1
	<u> </u>	<u>茨</u> 茨		大	1	-	愛	媛	大	_		」					1		日 日		<u>,</u> 本	 ナ		8		立	台			大	95
	<u> </u>	筑	波	大	5	-国	高	知	大	_	_	É		 治	医	大	1		H	本	· 歯		_	1		龍		谷		大	8
		Ŧ	葉	大	3	-立 -	九	州	大	_		町		海	1	大	1		日		女		_	1		大	阪			大	3
国	F	お茶の	水女	子大	2	大	佐	賀	大	: 1	雨	3 屠	al Al	澤		大	3	私	法		政	ナ	:	13	私	大	闅			大	5
	1	電 気	通信	「大	1	学	大	分	大	: 2		ŧ	ŕЦ	」学	:防	1 大	7		武		蔵	大	:	3		関		西	-	大	42
		東	京	大	12		合		Ē	F 18	1	重	i ;	細	亜	大	1		明		治	ナ	:	22		関	Ē	5	医 〕	大	1
		東 京	医薩		1		東京		立大	; 3		当	-	習	院	大	1		明			院 大	:	1		近		畿		大	20
	Ŀ	東京	学業		1	公	都督		科大	_		1		里		大	2		立		教	ナ		21		関	西	学		大	56
	Ľ	東京	海洋		1		滋賀		立大	_		겯		林		大	1	立	·早	稲	田		_	34	立	甲		南		大	6
立	H	東 京	工業		1		京者		立大	_		立慶		応		大	20	_	麻		布	大	_	1		神	戸	学		大	2
	Ľ	東 京	農工	- / •	1		大图		立大	_	_			学	院	大	7		神	奈	Ш		_	1		神	戸			大	2
	Ŀ		橋	大	1	立	兵庫		立大	_	_	E		学	院	大	1	-	金	沢	I		_	2		神	F			大	3
	⊢	横浜	国立		2	-	神戸	11*	外大	_	_	E		± ```	舘		1	_大	_ 愛	知	医			1	大	\vdash	庫			大	3
	<u> </u>	金	沢	大	1	-			立医大	_		影		澤		大	2	-11	中		京			3		岡	<u>Ц</u>			大	1
	<u> </u>	信	州	大	1	-	尾道		立大	_	_	~ ~		浦	<u> </u>	大	_	-	南		山 (古)	大	_	1		川	li uz uz			大	1
大	<u> </u>	静	岡日	大	1	大			<u>立</u> 大 理科大	_				智		大	_	-	名		城	ナ	_	1		└──	町 ២ É	S 僚 f	富祉;		3
		名 古 三	 重	大 大	2	-			理科/ 医療大	-	_	へ 「 」 「		蹊 城		<u>大</u> 大	_	学	京 : 京	都	外 産 〕		_	2 5	学	広広	島	〕		大 大	1
		 滋	里 賀	 大	1 3	-	- 音 所 高 矢		<u>医療</u> が 科 大	_	_	日		 修		 大	-		· 京		産 女		_	8		広				大	2
		 京	_貝 都	 大	12		高矢				_	L H		 央		 大			<u></u> 京	 都	<u>又</u> 薬		_	0 5		安			<u></u> 子;		2
	<u> </u>	示 京都工			12	学			<u>エ ハ</u> 子 ナ		-1				: 塾	 大	7	-	同		 社		_			道德					4
	<u> </u>	_{太 即工} 大	阪	大	18		一合	, A		_	_	月月		<u>山</u> 海		 大	-			志え			_	5		合	щ	~		計	- <u>-</u> 612
学	<u> </u>	<u>八</u> 神	戸	大	18	4		医科	大学校			 学 す			経	大	-		2.					-	꽃은		모나	准亡		(%	
	⊢	奈良	·		2	文科省所			<u>大学</u> 杉	_		, 		, 〔 攵							1	- 1/2		-							
	H	畄	山	大	14	竹管外	合		Ē	-						医大	1	- `	1	文 法 法 政		理	$\mathbf{T}^{ \frac{1}{2}}$	林上	医	薬	生活	体	芸 教	なその	
	Γ,	広	島	大	13	管外大学校等						耳		京	農	大	4		部	文外语社会 治				水 産 ī	歯		科学	育	術育		11 計
	;	徳	島	大	8	等						耳			理	大				18 13		3 .	20	9	10	4	3		1 6	4	100
				••			т Я	一	F					545				*													

◆◆◆◆◆玉翠会員から図書館への寄贈図書について◆◆◆◆◆ 冨川 光雄氏(昭和32年卒)

『空白の四世紀』を覗く(入口と出口)日本人基幹二系民族論	
による『卑弥呼の国』のその後続編	1部
『空白の四世紀』を覗く(入口と出口)日本人基幹二系民族論	
による『卑弥呼の国』のその後続編 邪馬台国論 決定版	1部
『日本人基幹二系民族論による「卑弥呼の国」のその後』	1 部
山崎 敏秋氏(昭和37年卒)	
『聖書の難問を考える』~気懸りな人のために~	1部
へ短くケム 東京工羽へ とぬまけへ 150,000 円さい	6 . L > +
- 会和 4 年度 - 東京玉翠会より寄付金 150 000 円をい	17773

真鍋 舜治氏(昭和21年卒)

Coefficient Diagram Method for Control System Design_	1部
『代表的日本人』 内村鑑三著 致知出版社	1部
『代表的日本人』 内村鑑三著 岩波書店	1部
『REPRESENTATIVE MEN OF JAPAN』 Kanzo Uchimura	1部
『プリンシピア』 アイザック・ニュートン著 講談社	1部
『私記 一軍人六十年の哀歓』 今村均著 芙蓉書房	1部
『続一軍人六十年の哀歓』 今村均著 芙蓉書房	1部

令和4年度 東京玉翠会より寄付金 150,000 円をいただき、前年度までの繰越も含めて下記の図書を購入いたしました。 敬語の辞典 1冊 シリーズ日本語の語彙 全8巻 シリーズ郷土史大系 7巻 計170,060円 高松高校図書館

(第 44 号)		玉翠会報	令和5年7月8日 発行(14)
昭一七川﨑二三、逸見治枝、松原キョヱ、村尾幸子昭一九青木富美子、中西良子、紫野弥生、櫻又フミヱ、昭一九青木富美子、中西良子	+ 二二前田勇、真鍋舜治、水野俊夫 二三縷田修作、佐野宏哉、村川正良、若 二三縷田修作、佐野宏哉、村川正良、若 二四小松信幸、中條利祐、原哲三、福 二四小松信幸、中條利祐、原哲三、福 二方尾方光栄	高 中 高 中 昭二二年二年二年二年二年二年二年二年二年二年二年二年二年二年二年二年二年二年二	
吉野宗、和良地みさ子 古野宗、和良地みさ子	「「「」」「「」」「「」」」「「」」」」「「」」」」」「「」」」」」」」」」	(子高) "子 "子 "子 "子 、小西道子、上井茂子、太田通子" "子 " "子 、小西道子、志村澄江、竹島鞆子" " 子 " " 子 、 、 、 、 、 大 市 長子、板坂恒子、上井茂子、太田通子" " 之 章 子、、 、 西 章 子、、 、 小西道子、志村澄江、竹島鞆子" " 字 子 、 、 、 西 道 子、、 、 太 田 道 子、、 太 田 通 子 、 、 太 田 道 子 、 太 田 道 子 、 太 田 通 子 、 、 本 村 長 子 、 太 田 道 子 、 、 太 田 道 子 、 、 本 村 長 子 、 、 本 村 長 子 、 、 本 村 長 子 、 、 本 村 長 子 、 、 本 村 月 子 、 、 本 村 月 子 、 、 本 村 月 子 、 、 本 村 月 子 、 、 本 村 月 子 、 、 本 村 月 、 、 、 本 村 月 、 、 本 日 月 、 、 本 月 、 、 本 月 、 、 、 、 、 、 本 月 子 、 、 、 子 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 本 、 、 、 、	昭二〇(4)大山禮子、加藤鎮子、佐藤貴代子、陶山和子、中山容子、志原千香子 昭二一安達惠美子、出渕寛子、入江一恵、植田美重子、 西山恵美、長谷部みちよ、廣瀬芳子、二川幸子、古市寿 子、堀川幸、薮内信子、山崎朝子、吉野登嗣子 客山三井内菊代、髙嶋桂子、筒井喜代、鳥飼敦子、宮崎 昭二三井内菊代、髙嶋桂子、筒井喜代、鳥飼敦子、宮崎 照子 田尾敏子、高嶋和子、常谷俊枝、出ロックヱ、増田美智
典子、岡田美子、貝沼三栄子、木村貢、黒川数子、佐立田、植松修三、遠藤俊一、大沢一子、大林弘子、大森昭三O浅野道子、六吹イソエ、池添善山、泉川嘉輝、植子、青木千夏子、大林正敏	(14-10)11 Park 1 省11 WEINWALL 林 2011 (14-10)11 Park 1 省11 WEINWALL 林 2011 (14)2 (14	昭二八青木桊子、青峰徹、浅田正夫、天野彰、池田孝、 田五賀代子、今岡哲雄、靱紀子、大塚裕康、大庭珠子、 出石賀代子、今岡哲雄、靱紀子、大塚裕康、大庭珠子、 大畑峯子、川口春陽児、木原昌彦、窪田紀子、小嶋治男、小 谷主子、児玉正豪、児玉昌子、齋藤敏夫、迫田義昭、真 田登茂子、昌司照雄、白石典彦、窪田紀子、小嶋治男、小 谷主子、見玉正豪、児玉昌子、齋藤敏夫、迫田義昭、真 田登茂子、昌司照雄、白石典彦、窪田紀子、小嶋治男、小 谷主子、西田節子、浜垣勇、平田實、福田隆宥、細 中村千恵子、西田節子、浜垣勇、平田實、福田隆宥、細 谷誠、前川初枝、増井清子、町田照代、松本美津江、真 客哲也、毛利滋、森昌博、森恵洪、横田大和、吉田留美 字、 秋女宮美子、馬公氏鳴子、シ田英美子、竹七進子、	昭二七 明石多美子、朝江美恵子、井川久之、池内皎隆、 石津則子、今澤暉子、今田寿子、入倉満、大浦廣子、大 四義男、岡野博通、岡本節夫、柏原利衣子、算双子、 際 之忍恵子、角陸正健、木下治代、木村栖子、木村多美子、 又忍恵子、角陸正健、木下治代、木村栖子、木村多美子、 四昌弘、谷本久美子、土田孝栄、長尾薫、永森敏行、仁 木圭子、西浦正子、蓮井玲子、長谷川順子、濱本藤夫、 林越幸、廣瀬朔子、藤島克子、堀池進、松原大子、水嶋 浅茅、水野道代、三宅美智子、宮武陽子、三好幸子、藪 木英俊、山口芳子、山下祥治、山本良子、山本洋子、吉
村上由美子、本岡和光、森田健一、森田幸子、森山義政、中村咲香、中村利寿、西浦雅子、新田美千子、秦弓槻、中村咲香、中村利寿、西浦雅子、新田美千子、秦弓槻、地下洋、飛谷高照、豊田武則、鳥居三知代、中筋信二郎、	4 11 14 15 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16	□、加藤徹、角谷寶、 山町業子、四村和子、 一、加藤徹、角谷寛 、 一、加藤徹、 「 「 「 「 」 「 」 」 二 、 二 、 二 、 二 、 二 、 二 、 二 、 二 、 二 、	1、小野、大 「 「 」、 「 」、 「 」、 、 版 市 二 、 板 市 に 、 一 、 版 に 、 一 、 、 板 に 、 二 、 横 山 足 、 、 の 子 、 に 湾 和 子 、 、 宮 式 、 の 子 、 に 湾 和 子 、 に 湾 和 子 、 に 二 、 一 、 二 、 一 、 二 、 一 、 二 、 一 、 二 、 一 、 二 、 一 、 二 、 一 、 二 、 一 、 二 、 一 、 二 、 二 、 二 、 一 、 二 、 一 、 二 、 一 、 二 、 一 、 二 、 一 、 二 、 一 、 二 、 一 、 二 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、

島治子、合田吉徳、小西博子、坂口昭子、佐藤修二、七	昭三九赤澤寛幸、浅田鈴子、東時子、伊賀俊夫、池田駿	蝸芳美、真鍋尚義、真鍋宣子、三澤順子、三好紀子、三	田久美子、小野利明、小原文子、笠井邦彦、笠井ミヤコ、
木下俊子、日下瑞子、楠聡文、久保稔、久保田ミワ、桑	常谷忠克、中山哲子	美智代、松沢尚子、松下好博、松本英伸、松本保子、真	原武、小笠原尚子、岡田國義、岡田洋子、岡田雅子、織
鎌野昌司、河口三枝子、河瀬知子、川田清彌、川南節子、	佳子、吉田莞爾、和田かず子、渡辺トシ子、石川洋介、	憲昭、細川修吾、前田葉子、増田徹也、増田昌三、松尾	西信子、大室和代、岡俊一、岡崎旦、岡澤恵美子、小笠
樫原正也、加藤英子、金尾光子、金子正光、蒲田雅子、	茂昭、森川信子、森田紘一、矢野智行、山谷幸男、横浜	西村博、花岡清子、馬場圭子、原洋子、藤本良子、細川	松節子、大川泠子、大木幹夫、大坪和彦、大西大介、大
岡田憲政、岡本敬子、荻田耕三、奥田哲哉、小田レイ子、	宫武正明、三山蕙、三好尚武、向井友一、元木碎香、森	明、飛田久子、飛谷節子、中村敬、中村照美、西川怜子、	藤省吾、糸見幸代、岩井和子、印藤孝彦、上原繁美、植
大濵義幸、大薮修二、岡悦子、小笠原敬三、岡田千昭、	子、松本秀三郎、真鍋慎吾、真弓哲二、水本尚、宮北幸、	田中暁子、田中歓子、千切谷多一朗、津田健二、徳永孝	伊賀尚志、池田史子、石田守正、泉文隆、伊藤保憲、伊
浦川建一、江郷知己、太田修、大谷俊子、大西利喜子、	博、藤岡勢都子、藤沢晶、藤田雅敏、二川俊秀、松高壽	山義武、鈴木鞠子、高木久美子、高橋良忠、武田英徳、	昭三五青木喜美子、秋山欣子、綾野親徳、安藤瑠美子、
昭四一赤沢武基、穴吹久子、岩田喜美枝、岩村わか子、	文、廣田一機、廣田正子、福士三千子、福家守、福家正	原茂信、四宮靖三、四宮美江子、神内好伸、陶聡子、杉	博
藤隆司、吉田穂束、渡邊節子	真浩、竹馬輝子、辻義人、西井純子、袴田邦子、原田正	良、小林忠子、近藤洋子、佐々木ウタ子、佐藤芳久、篠	正和、矢野隆子、籔内捷文、吉野紀代子、渡辺修、村上
敏子、八十川紀夫、山神弘、山下美智子、山田義雄、湯	橋修一、高橋昭子、高橋悦子、髙松洋、田阪武夫、立山	栄、久保正篤、桑島実、小嶋武士、五ノ坪恵子、小林孝	雅子、三山雅敏、村上雅子、牟禮浩子、森岡令和、八木
三原衛、茂中淳二、森岡茂、森棟公夫、森本雅栄、森山	井稔三、田岡聰、高井紀代、高木宣子、高田美穂子、高	子、釜野智裕、鴨川尚史、木下忠雄、木村和照、木山昭	敏弘、牧野豊、真鍋武紀、三栖祥児、宮川栄之助、宮田
松田滋明、松原珠実、松本百合子、水尾一信、湊唯義、	新藤禮子、新藤勝利、神内邦隆、須田勉、十河泰子、田	田佳代子、越智美子、鹿児島鐵子、片山重正、鎌田美枝	口順一、平井伸也、福家俊男、藤井照芳、細川治、堀家
福井義喜、藤川行江、邊見敬三郎、前田みどり、舛形勝、	祥子、楠知子、後藤節子、佐伯眞作、重松麓、新谷勝廣、	子、大川元臣、太田幸子、岡奎子、岡興久、岡順子、岡	中村裕惠、名合智子、鍋田佳子、西山要、東川郁子、樋
原浩、西村弓、乃一裕、野口章男、八田光、平尾耕三、	美子、梶村正俊、鎌田邦栄、鎌田孝子、北角幸弘、吉瀬	松登志子、植松芳哲、宇賀美代子、江村美光、大宇根成	手塚裕子、土居英樹、土井弘子、豊田郁子、中谷浩三、
中山惇、名和詔子、西尾嘉孝、西尾道子、西田耕治、西	宏子、大橋公子、岡田幸子、岡部敦弘、小川実、柿原紀	荒木統、池田正実、石原優子、井上浩二、岩村清志、植	関根和子、曽川邦子、田尾正子、高橋紀代子、竹内章雄、
かをる、中野美惠子、長野新一、中村茉莉子、中山隆司、	重則、上田英敏、植村忠彦、内海茂男、太田光則、大西	昭三六青木博美、浅田昭、足立宏美、穴吹洋幸、安倍惇、	忠、柴原力、渋谷宣隆、清水美智子、新名長文、杉喬、
卓、遠山誠司、徳永信子、中井敬子、中上昌二郎、中西	英彦、今岡幹典、岩倉信子、岩嶋樹也、上北圭子、植田	男、横山邦子、吉野英子、和田脩、池田修、	美、坂野士祭女、佐竹睦子、佐藤薫、塩本宏子、品治重
谷本義隆、玉越美雪、土屋博子、堤康、角田朝則、寺尾	昭三八朝國武子、荒井瑞代、石川喜久、石原久子、和泉	俊次、山科桂子、山田勝、山田泰三、山本泰嘉、山本晴	文太左右衛門、河野一郎、近藤敬司、近藤清子、斉藤雅
子、詫間敬芳、竹本正憲、多田進、多田文雄、谷口光、	嶋忠明	宫武哲、宫本仁美、向井輝彦、元久正美、森山亮、山下	桂子、加藤祥子、河合洋祐、河瀬一紀、川田泰生、木原
昭、品治純子、末包昭彦、髙尾佳巳、高見政己、高見純	瑞枝、吉田育代、和木典子、和田秀子、渡邊美智子、鹿	子、三井勲、三野宏、三宅治美、宮武正隆、宮武秀夫、	谷忠、大野由美子、岡本徳子、尾崎信子、梶野茂、香月
子、北坂典子、栗林伸碩、後藤康生、後藤正徳、小西憲	峯子、森田順子、山内康生、山崎敏範、山崎敏秋、山﨑	信、松本修二、松本孝子、真鍋敏毅、真鍋禮男、溝川陽	英輝、井上リェ子、井上富美子、上田和子、太田孝、大
野スミ子、小比賀曙美、片山暁子、萱原徹男、河田マリ	宫野明子、宫本盛規、宫脇和夫、村上誠一、森忠彦、森	光、本田道明、增井武彦、増田恵美子、松木恭一、松木	昭三四明田繁美、安藤知子、池田一昌、石田暁光、石原
瀬雅宏、岩藤昌樹、臼杵季典、大川直澄、小河孝則、小	松本芳樹、三原弘子、宮北昭彦、三宅加代子、宮武邦夫、	紘美、藤本征機、二川浩三、星野登美、堀田健治、堀池	寿美子、福崎きみ子、吉田泰子
澄、泉谷武信、稲葉昌子、伊原木久美子、今上茂樹、岩	船曳桂子、細川昌美、塹江正志、松岡博昭、松崎弘美、	英樹、浜本俊一、藤井雅義、藤井英世、藤木孝一、藤田	子、斎田仁美、佐野紀子、藪木公子、横関紀久子、玉木
昭四〇赤松葉子、東弘子、穴吹和士、穴吹貞文、石川眞	昭、広瀬健次、福島正信、藤澤峻、藤村祥一、二川尚子、	村昇、中村美千代、西本功子、西吉利裕、野澤宏江、秦	規、湯野寿也、吉岡崇、吉田陽彦、片山由美子、組橋恭
津照夫	幸夫、長滝秀信、野崎敦夫、幡英一、幡多茂樹、林越則	惠子、豊田章二、長尾綾野、長嶋ヨシヱ、中野紀子、中	雄、森本肇、八代紀子、八十川眞二、山口興平、山田裕
吉岡郁子、吉田雅子、吉原哲也、和田朗、常谷香代、米	樹、谷川宏、玉置正、辻勝子、鳥居昌子、鳥飼勉、長尾	公子、豊島雄一、豊島英俊、豊島徹、栃折慶子、冨永千	之、真鍋光広、間宮淳子、丸岡幹二、三谷純子、武藤満
三野安意子、宮北薫、村井恵子、山下祐一、山地正克、	濱信之、高松薫、高宮誠、竹下邦彦、立花広海、田面秀	公智、田山棟信、團野恵子、中條和臣、土屋美子、鶴尾	志美、二川文一、古市征、古川登代美、前川勲、前田道
松村憲太郎、松本勉、松本勝行、松本英子、真部利応、	保昭子、杉内克己、鈴木郁子、千野昭代、高尾義介、高	博、谷原昭子、谷本朋子、谷本美那子、谷森圭子、玉越	子、原田貴弘、平野数夫、廣瀬彰彦、藤本利子、藤本良
藤川吉洋、藤川幸子、増田恵弘、松田美也子、松永紀子、	司朗、斉藤尚則、澤村田鶴子、塩田洋、神内芙美子、神	嶋克洋、高杉千瑞子、高濱孝、高原徹、武田善行、伊達	勉、田村大司、千葉節子、中井道子、西岡亨、長谷川勝
直行、蓮井愛子、蓮井加代、濱本貴美子、原田美由紀、	名信雄、五井修子、香西敏、小松義照、近藤俊子、斉藤	羅義昭、薗浦政勝、田井朋子、高木茂昌、高崎浩敏、高	靖子、高島邦彦、高橋久代、田中保夫、谷本正彦、谷森
井徹、中井護、中西登紀子、長町典夫、西川正樹、蓮井	喜多克幸、北泉洋子、北岡保之、熊敏彦、久米修三、桑	修理輝男、城山和代、末澤功、末澤玲子、図子知久、世	藤正、佐々木成忠、佐藤弘子、柴野孜、瀬藤利生、十河
須田嵩、高田等、武田一憲、千切谷真澄、寺尾眞樹、中	小野泰子、香川暢也、片岡勝子、金田清臣、鎌田紘志、	藤彰男、三田喜代美、塩田栄子、柴田輝男、清水綾子、	村栄二郎、国方康博、久保勲、久保正範、桑名芳昭、近
代、笹川滋、佐竹勝利、塩田嘉明、重松純子、渋谷崇子、	郎、岡崎洋、岡田超生、岡本房子、小国昭、苧坂泰子、	健、斉藤寿良、酒井典子、佐々木史朗、笹岑紀美子、佐	川井彰三、川上智、河北晏矩、河原忠一、神辺俊郎、木
祥子、小塚照美、小西博行、齋江知、齊藤壽彦、佐古昭	淳、市原洋美、猪又清之、漆原澄子、大須賀誠、大野毅	野哲夫、河野章子、国生徹、兒玉秀正、小林叡子、駒松	大村晃子、大森恭子、岡野俊樹、岡本政俊、苧坂よし、
江、木村信行、久保久仁子、粂井政信、小磯智恒、香西	昭三七秋山建樹、荒井信子、荒木正志、安藤正道、伊賀	宗孝雄、倉本久美子、栗田昂、黒田泰弘、香西維忠、河	久保秀典、太田英子、大捕宣英、大西旻、大林紀久子、
尾崎修敬、小畑美智子、小比賀俊彦、片岡真二、河西和	辺寛	英紀、木下榮一郎、木村学美、木村勝紀、国金庸夫、國	今澤一恭、井宮秀明、植村登、臼杵貢江、大岡絢子、大
昭宏、岡	豊子、山地正彦、湯藤美千代、吉武泰俊、與田康子、渡	英幸、川口正之、河田俊彦、菊池洋子、岸田豊江、北谷	昭三三浅田裕、天野勢津子、綾野仁嗣、池尻治、石井全、
介、石川恭子、植村正子、遠藤啓吾、遠藤顕子、大西興	好益美、森祥子、森滉子、谷内田一忠、矢部敦子、山口	片岡章、加藤鏡子、鎌田毅、鎌田進一、鎌田英信、河合	安永英明、山川早苗、山﨑可壽子

玉 翠 会 報

(第	44	号)	

令和5年7月8日 発行(16)

見市昇、港義弘、南埜希代子、三好智次、元山賢治、山	口清子、寺師明美、天雲俊夫、中澤亨、中西範幸、南野	植田和弘、植松由量、楥原恵子、大熊一任、大澤昌子、	哲人、 植田里津、 植松正良、 牛川務、 卯目和巧、 太田道
孝夫、平井一也、藤田次郎、淵崎正弘、逸見美千代、	[彦、多田美佐子、立岡英宏、壺井俊博、津村恭子、	田恒明、池長由紀子、石垣佳邦、石鍋典子、岩見戔	右、池田篤子、伊藤擴充、井上葉子、入倉則夫、上
、永留三恵子、萩森康史、橋本香代子、	11、嶋村昭、正箱孝史、鈴木史江、高田純子、竹	五 青木茂、青木宏道、安藤由和、池上晴英	四三穴吹修二、有冨麻里子、飯田博、飯間秀雄、
実、土居葉子、徳広信也、豊澤佳弘、名尾和広、長井啓	坂口安男、笹倉啓子、佐藤茂、佐藤哲男、志賀松邦敏、	一夫	毛利成一
伸一、菅原香代子、鈴木聡、隅田啓、武田伸二、辻上寛	久保隆彦、久米川啓、合地研吾、小坂真智子、駒木典子、	田渉、和田俊裕、渡辺正博、渡部荘三、渡邉洋子、六車	秀俊、森一真、山本直樹、橫手朱美、渡辺行範、岡田久、
野美智子、小嶋唯司、近藤延子、佐藤暢、柴田節、修理	本恭之、神田成栄、岸上孝美、木村ますみ、久保正典、	森崎秀子、薮下真弓、山本博、湯浅康夫、湯浅葉子、吉	本隆茂、松本学、三木周一、水本節子、皆川鈴子、宮武
河辺亮、神邊節子、菅野正朗、岸本直子、桑田敬子、河	律子、香川典子、梶野雅義、片山美代子、加藤恵子、河	一郎、三好真琴、三好久美子、向井万里子、森川敏純、	佐由美、松浦利行、松尾和代、松岡修平、松野芳則、松
子、大林直嗣、岡崎功、岡山栄作、奥村康夫、小野一広、	岡弘文、岡範全、岡英憲、岡内利文、岡本吉民、小野坂	三木美國、溝渕香代子、三原聖則、宮井陽一郎、三好純	田道宣、前田直俊、前田恵子、前田糸子、槙田實、増田
康、今滝知子、今竹泰典、大内典子、大角京子、大西葉	上原昭子、上春育子、大角芳史、太田康子、大橋ひとみ、	平尾幸夫、平田隆久、広瀬真理子、藤本和子、松本伸一、	止行、藤澤哲夫、藤田万久、藤花康子、堀上さえ子、前
昭五〇朝原周一、穴吹善範、池田育嗣、池田朋子、井上	村公典、稲毛和子、井上浩一、上枝正人、上枝百合子、	﨑達二、濱島研作、林越洋子、原田章二、坂東啓一郎、	田俊、菱谷誠二、平井陽子、平尾準一、平川峰子、福島
敬二郎	昭四七淡河美智子、井口義也、池田恵子、猪崎弥生、一	川保、仲田恵子、中山真理子、西田直樹、西山司朗、野	村芳正、新谷充則、橋田敏子、波柴幸子、馬場康吏、原
一、松本淳子、三好久美子、山下誠志、中条良則、三宅	安田元	土岐和美、中尾裕、中尾好輝、中尾洋子、長尾哲見、中	伏繁晴、対馬健三、手島洋一、中井敬一、中土成子、中
原義和、林恵、平田芳廣、福田安伸、本川一善、松延秀	岩澤和夫、大西賢二、四宮洋次、菱井利祐、松岡省三、	多田讓治、多田薫、多田好克、田中豊子、谷本美佐子、	品川直介、隅田和子、十河喜代、高嶋博、髙橋敏美、田
雲悦代、土居邦壽、長尾忠司、中島延淑、中島玲子、西	三谷哲夫、山本真也、脇口明子、脇谷勇夫、秋山寿行、	神馬牧子、須田文誉、高橋千寿子、竹内司、竹広章代、	佐竹和子、佐藤公信、佐藤修、佐藤加代子、佐野八重子 、
名保美、高山もと、武田英照、田島朋子、谷本一成、天	藤原郊美、細松英正、間嶋弘、松井美紀夫、丸谷幸彦、	斉藤旬延、佐竹悦子、里見恵子、清水具代、清水昌子、	壬、熊野清、粂井純一、黒川秀子、小磯修二、古米俊雄、
篤孝、木村守、久保豊、佐瀬洋一郎、鈴江ひとみ、高桑	川浩一、原口君代、日詰裕雄、平野佐代子、藤澤孝男、	久保克己、熊丸幹子、小石直樹、小竹和夫、小西博子、	河合公三、川西進、川西笑子、川野壽、河本彰、木谷紀
之、大西值恵子、岡内伸介、小川哲郎、加藤昭彦、北村	土岐彰、冨田直樹、中島久男、中島英男、仁木壯、長谷	河合幹夫、川田佐知子、岸本律子、木田一正、久能健一、	香川茂雄、香川マサ子、梶村恭子、片山博親、鎌田町子、
昭四九安藤千代、池田和真、石田謙作、内田徹、大饗由	高橋彰子、田中康博、塚原布海子、辻川弘子、寺井健、	小原文雄、海面豊、片木留美子、片山美穂、河井忠比古、	笠原倫子、岡島勉、岡田はる子、小倉マリ子、織田靜信、
畠山茂毅、藤本美智子、松木孝之、真井邦晃	酒井美智代、佐々和子、佐藤法暢、圖子泰、高橋京子、	井幹雄、大島邦雄、大橋洋三、岡田和美、小野坂寿夫、	本悟子、上野廣子、靱修二、恵比須忠、大坪美知子、小
渡辺雅子、川原一芳、十河憲夫、冨永信彦、永井崇雄、	田順二郎、鬼無敬子、木村修久、桑崎正春、齋藤誠二、	恵一、入倉憲二、上杉ヱリ子、植松恭平、遠藤隆江、大	稻田和則、猪子順、岩﨑敬子、岩嶋修治、岩田好範、岩
朗、宮脇誠、森秋文、山口純司、山地芳和、横山美登里、	松道治、大谷義美、大村章子、小野田実、加藤雅子、鎌	田育子、石川幸子、石原隆、糸瀬敏恵、井上正美、今井	昭四二明石陽子、阿部修二、池内巧、池田文明、池田茂、
二、丸谷照代、水杉好子、美馬祐一、宮本幸治、宮本吉	昭四六秋友直文、飯間龍彦、飯間康代、一小路泰夫、植	昭四四秋本まり子、穴吹一雄、天野義行、天野百合、池	潔、山地康夫、横田ひとみ、森川輝男
井敏孝、藤枝好、藤田和志、藤田光代、古市哲也、堀祥	子	中村友子、能崎八重子、野網省平	博昭、山﨑三十子、山崎律子、山下民子、山田智、山田
沼本篤男、納田安章、林義隆、久本吉亮、福嶋哲弘、藤	渡邊寿磨子、渡里幸平、村川正信、川下幸夫、村上美智	吉峰一博、吉本泰三、米本文子、頼富節子、渡辺純子、	牟禮明、森茂樹、森知子、安原ルミ子、矢野恭治、矢野
寺嶋吉保、土居譲治、仲西さち子、中山緑、西山幸代、	安澤和彦、矢野年紀、吉田恭典、米沢基子、渡邊智樹、	山上明子、山崎具美枝、山下明、山本二平、山本道子、	宫崎高子、宮下慎一、宮脇良秋、六車正章、村上克己、
竹林由美子、多田泰三、田中勝英、田中眞治、谷澤昭彦、	木祐子、向井幹雄、村山正俊、森岡真治、森田知恵美、	三谷千尋、宮地節與、宮脇範次、矢野裕子、山上英司、	溝渕利博、三橋朝子、箕田俊介、宮崎哲雄、宮崎一郎、
竹一郎、里見昌信、白石宏志、十河政史、詫間実千代、	雄、松家由岐子、松垣富美子、眞鍋和人、三浦雄二、三	堀家みどり、松見涼子、溝渕寿一、溝渕博司、溝渕敬子、	真弓研介、萬谷嶽典、三浦卓二、三木知子、水落邦子、
小石泰子、香西一憲、香西良子、河野功、小西二郎、佐	浩、藤原裕子、古川健造、別所博子、松岡正己、松岡幹	勇、藤本隆幸、古澤幸夫、別枝修、星野次永、細川壽美、	涌典代、松本一路、松本太一、松本信吾、松山千恵子、
下譲二、菊地澄子、帰来雅基、倉敷ツヤ子、黒川知文、	世、中山幾代、西岡千鶴、野崎孝枝、原田育枝、福西敏	子、藤沢譲二、藤澤万季代、藤澤福子、藤田壽子、藤村	堀亮子、堀井茂男、堀池典子、本津孝幸、松井芙美、松
岡内清弘、織田幹子、亀井收、川北智司、川窪洋子、川	土肥穰、富百世、中博史、中川茂樹、中津佳昭、中林秀	秦和也、林計治、林聖三、原田洋子、平尾美子、平山隆	壬、福家智美、藤澤淳、藤野裕子、藤本彰二、別枝隆、
好、稲垣浩、稲田幸三、上原邦昭、大井久恵、岡輝人、	田村寛司、田村裕子、天雲定義、天雲一裕、土居直哉、	中村敏雄、中村谷年威、新谷富子、二宮信治、蓮井茂幸、	子、東原憲子、広瀬政憲、広瀬譲治、広瀬幸子、福井励
昭四八芥田敬三、阿部知代、井口進午、石田純子、泉尚	高垣健治、高崎美知代、多田幸司、多田啓志、田中恵子、	常谷薰、坪井俊樹、土居正博、永井博行、中野百合子、	波章、西村良治、野口吉秋、浜坂保治、浜坂宰代、原京
志郎	佐藤和史、住友照明、諏訪真司、諏訪千秋、千田香代子、	子、詫間行芳、竹下和男、伊達順子、田中惠、筒井伸司、	原きよ子、中村秀明、中村弘、中村陽子、中山艶子、灘
子、阪本一樹、土居範行、東原正明、三崎隆志、三野容	坂元順子、坂本博子、櫻又正士、笹島幹豊、笹原常良、	則、佐藤正子、七條政志、十河泰司、高岡英治、髙橋久	雲恭彦、土居徹、登那木悦子、富田朱美、仲下京子、中
朱美、宮武茂典、和田勝、渡辺忠俊、飯島裕幸、岡田育	古賀益子、小西郁生、小山美恵子、榊原賢治、坂口道啓、	男、桑田淨伸、小坂悦夫、小西久典、小西洋子、斉田光	陽子、田村貞雄、田村真美子、筒井順子、鶴見邦夫、天
誠、三日月善夫、溝口重治、三谷啓子、光宗皇彦、三野	康裕、木村博則、國友美則、久米川和子、久米田茂喜、	夫、川畑省三、喜多悦子、北原信子、鬼無律友、木村安	多胡護、多田則明、田附尚、立野省一、田中利彦、田中
子、間島賢治、松岡久美子、松岡知子、松山哲也、三浦	朋子、金森越哉、菊間惠子、岸本泰三、喜田惠治、北川	樹、加藤一正、加藤育子、門田賀子、川崎正視、川崎達	高橋博之、高濱安子、高宮あゆみ、武井邦夫、武内滋、
~智子、藤	子、岡本久大、小佐野千重子、片岡正章、加藤寛、加藤	岡部悦子、鏡原満、香川優、樫昭二、加島英二、加藤秀	鈴木清子、砂川敏文、関根建一、孝岡弘子、髙田敏也、
三津子、西村康子、西山文子、西山徹、西山弘子、野口	大嶋正司、太田洋子、大坪恵美子、大西茂明、小笠原弘	博、大西豪、大林和南、大眉明男、大眉秀人、岡孝憲、	條益代、志摩靖子、島村久美子、白取美由記、鈴池典子、

田誠一 榨菔法美 佐菔碧 杉山和歌콬 田尾訪 名臣	和 堦田浩坂 三才真由美 三島史子 朴上太 朴川衲	亭 尾幅奚 加瘷珍二 川上由伯 北内違什 業天恵美	境内邑子 板里浇言 松瓦俊二 的场隧子 重鉥英厚
戊一、産餐れたで、店餐号、ジョコ次を、日舎戈、谷一二池上勝哉、糸瀬ふみ、井上雅世、大澤健二郎、	、曽日告戌、三て真日€、三号□○、廿二て、廿一絵、筒井雅彦、常谷典生、豊島彩、中田健次、福家	寄务、口痿承二、十二日生、比百宜亢、石河利広、石田英城、植村圭一、大西研	(前二、真予告引、公里書二、力易易二、真易) (前二、真予告引、公里書二、力易易二、真易) (前二、真予告引、公里書二、力易易二、真易) (前二、真予告引、法理書)
郎、佐藤崇裕、長町篤、藤澤衛、森岡真梨	彰宏、佐藤公一、田中誠也、田中育太、田中茂登、中條	田由香、吉野聡宏	1.5
平一一大美智敬、岡尚人、小笠原恵、久保太郎、厚井志	孝子、乙井実香、香川英俊、河田悦夫、菊島将臣、木村	雄、中矢和広、平尾幹子、前田八州彦、山本真裕美、横	砂山豊宏、関谷利裕、多賀朱美、髙岸浩子、髙﨑智子、
啓三、塩田浩子	美穂、上原直人、右近有花、大野紀子、岡本佐織、小川	威、白石哲也、神内一郎、神内美都、髙橋祥子、中筋功	佐藤哲也、島津昌代、新開里津子、助吉建彦、須田邦男、
健太郎、濱川昌延、堀川昌宏、真鍋量、向井大輔、亀井	平 三穐村ユリ子、伊賀彰子、伊藤香、井上靖志、入門	昭五九池田誠、池田知子、稲毛幸一、北堀礼子、佐々木	村重之、熊澤毅彦、齋藤真喜子、佐々木浩之、佐々木悟、
原綾、高橋聡、髙橋早都子、戸阪匡博、中井暢子、中塚	山本史郎、渡邉淑子、田渕薫	英信、三野靖、森真理、八木裕史、山本幸則、山本雅子	出茂晴、大西宏明、大原昌樹、押野雅史、亀井智子、木
卓人、久米一水、厚井久弥、小藤智史、小山賢太郎、篠	古竹美奈、溝淵正和、宮下武憲、茂中芳佳、山根由依子、	村公二、板東和彦、町田聡、三沢篤志、溝内哲也、三谷	谷孝俊、石井浩之、石谷誠、今井万里子、大倉朗人、大
平一〇 安藤真之、井川靖夫、石田恭子、鎌田長明、國見	河利樹、千切谷耕一郎、中瀬浩一、中村聡明、藤尾陽子、	十河聖司、高木盛子、谷崎琴、樽谷美香、西野友年、乃	昭五四青柳佳枝、浅蔭典男、穴吹久仁、安部忠明、阿波
正恵、長谷部文子、濱田康宏	崎敬介、落合由香、川人香織、桐林孝明、楠本衣代、十	佐藤美里、佐藤久美子、菅真美、杉本敏樹、鈴木朋子、	喜子、池田義、関元直登
平 九太田裕人、大森裕子、川畑里佳、川東芳文、下地	平 二石原加奈子、入谷浩之、小川淳也、小川明子、尾	川井裕基、河西邦浩、小竹京子、後藤泰宏、佐藤扶美子、	原幸子、宮崎俊也、森明史、山口弘信、横山徹、吉村佐
河誠、濱元ムッ子、細谷桂子	和田啓生	昭五八荒川裕佳子、大西弘倫、小野山千津、加藤宏一郎、	藤本幹子、麓泰紀、松岡貴之、松下節子、松野和彦、松
鍋敢、八十川明子、山路早苗、尾崎元彦、香西悦子、十	智子、中西充、濵﨑直哉、早川知子、真鍋未希、森本剛、	山崎裕子、吉井敏浩、英亘	中井達郎、灘波博司、沼原利彦、馬場正子、藤本邦人、
井隆文、中山信博、福家孝一、藤原慶一、松本直樹、真	鈴木順子、高橋陽一、武田祐司、谷康弘、谷明世、鳥養	松本寿、松本泰則、丸山武彦、溝内ゆかり、六車直樹、	田岡英明、高橋英二、竹内啓子、多田野有司、徳田桂一、
竜司、五ノ坪佑輔、近藤巨匡、神内圭吾、高田佑基、中	貴司、日下栄也、小岩利昭、迫田真由美、佐々木雅張、	南里正治、西村直子、羽野精一、馬場博史、松原真治、	佐藤良二、鈴木佳代子、住山喜昭、十河裕之、十河千穂、
平 八朝倉理映、井関龍太、大橋邦啓、岡野剛士、小川	仁美、入谷知世、大西真見、岡本 Gustafsson有花、折目	多田幹明、出口理恵、土居享司、豊田英二、永峰清美、	谷守之、日下卓則、小谷景子、佐々木祥二、佐々木一乗、
渡邉智子、市原武	平 元安部慶吾、伊沢栄子、石丸真弓、井上雅子、井町	喜田智幸、河野哲哉、小島謙治、佐藤いずみ、新川洋司、	津裕美、大林公一、葛西慎二、北山明彦、木村庸子、清
由佳、溝渕和則、向井麻央、森西崇、吉本晴樹、淀妙子、	宫脇幸子、村川哲也、八代田英樹、山下久美、山本岐香	井孝之、大出真由美、大西久宣、岡内眞一郎、門脇禎人、	昭五三青木英晃、池田政宣、石原玲子、泉川かほる、梅
彦、藤井泰宏、藤田妃佐子、藤本圭司、松岡俊郎、松本	理、久枝了、別宮欣暢、増田晋一、松原寛、三崎恵奈、	昭五七石濱琢央、石濱美子、伊藤菜穂子、井本康裕、岩	村諭二、山本修平、丸吉洋子
佐々木美栄子、柴田啓子、髙木大輔、富田あかね、林和	宝田繁基、玉木雄一郎、佃英樹、蓮井美奈子、羽田野麻	麻有里、吉鷹秀範、渡邊智子、渡邊浩一郎	康代、山田光一、和田晃尚、五嶋孝博、多田羅衛二、中
海部久美子、香川めい、梶村知宏、小石正裕、合田一洋、	近藤健二、榊忠輝、新藤正明、十河誠治、高木早智子、	智代、三浦治、水本恵美子、三舩司郎、三宅伸吾、山本	三島義之、溝内正康、三谷泰司、宮武礼子、宮脇誠、森
平 七井川早都子、梅田智子、大谷祐生、岡田里辺香、	岩﨑和子、小栗直子、川端桂子、木下晶、葛原真由美、	谷誠治、西村仁則、蓮井靖信、藤田祐、藤本拓資、細井	條ひとみ、米谷隆雄、松田欣未子、眞鍋裕司、三木武司、
間嶋都世	昭六三阿部博、安藤昌彦、飯尾美保、石原美保、入谷誠、	高橋夕香里、田中裕、寺尾章、中井恵子、長崎百伸、中	濵川喜亘、林美千代、林充代、原内大作、藤澤一郎、北
純子、安田仁、山上佳樹、山口潤、山下晃弘、山下正幸、	子、原茂樹、別宮貴仁、松本智美、松本亜紀、和田新治	川龍司、櫻又直美、佐々木晶子、佐藤今日子、清水善明、	竹内明美、辻恵和、辻上敬子、冨田久美子、永峰伸一、
稚子、長谷川高誠、東島潤、松浦麻矢、松本澄洋、溝渕	一郎、谷本浩二、辻正彦、土居晶子、長井雅子、萩池淳	井英俊、菊池智津、櫛橋朋彦、黒川実、小西英登、小早	新名孝司、千野みゆき、高木佳美、高橋伸治、高橋由美、
吉川玲雄、小西賢亮、嶋弘輝、末澤宏哉、豊嶋健史、西	子、喜田香代、葛原由起、河野仁治、曽我部豊、多田孝	射恵美子、内田雅仁、太田理、太田孝彰、岡谷史子、亀	神崎俊、合地仁美、佐瀬龍次郎、佐藤麻由美、塩田昭弘、
平 六印藤加奈子、岡知美、岡誠、鎌田恵子、川西章弘、	子、岡部祐介、川筋敏伸、川田安都子、川西毅、川西紀	昭五六秋山賢次、池内久徳、石岡邦章、石丸伊知郎、出	正、大森明子、岡秀樹、岡史朗、小瀬木滋、亀山祥子、
川東孝俊、喜多時乃、樋口淳一郎	昭六二安部洋朗、荒木隆、石田茂登、伊藤雅久、大西朋	吉田史枝、渡辺淳子	研、伊藤尚、井上耕一、岩井孝子、大島由加子、大塚康
史、西村雅子、藤川愛、森周一、矢田千枝、吉川明人、	松本弘司、村尾仁、八木田佳樹、和田朝子、和田友樹	原敬子、真鍋千恵、萬好都美恵、山﨑直樹、山田大介、	昭五二阿川昌仁、天野盛資、綾田智子、石川高英、市木
多紀、川井俊一、社本真紀、高尾真司、高濱均、中井裕	古川万里子、本多完次、本多英雄、前田圭見、增井佳子、	細川典宏、堀重美、松岡洋二、松岡利佳、松木聡司、松	代、山口朝美、山田徹、山本博司、利藤房男、岡見吉規
平 五有友雄一、上田香代、大川真史、大西吉之、鎌田	萩池昌信、濱野奈美枝、林秀樹、板東真由美、藤本千代、	博、廣瀬昌也、福家司、福家徹朗、藤川孝三、藤本悦子、	祥民、三野禎男、宮崎真二、宮崎恵子、宮地岳彦、森和
和也、柳礼恵、山形幸徳、山地貴子、山添佳恵	笹井文仁代、多田康臣、田村智子、土居良助、永坂久子、	都、中西徳彦、長町顕弘、永由美保子、能祖一裕、秦敏	子、福家みどり、福田陽一、細谷芳久、三澤浩司、溝渕
藤田晋、二神雅史、間島徹、松井久知、三笠善寛、村川	艸葉典子、久保誉一、小見山淳子、坂井美保、酒井佳代、	謙三、砂山博子、高崎恭子、太山尊弘、出口一志、中尾	明、中村正則、西岡牧子、埜中玲子、平尾直子、平野郁
田﨑京子、谷本美香、東野伸也、中野志保、名塚太二、	統裕、上原靖弘、鴨居真理子、川人ひとみ、木村勇夫、	西新五、香西卓、小柳和代、志賀紀之、柴田周、杉ノ内	洋子、田窪克久、武内一、田中佳利、谷川修一、富田弘
香西育代、小嶋桂、小宮由利江、図子浩基、泉保智彦、	昭六一石川りか、大西晴子、岡美樹、加地美智子、片山	正好、亀井可奈子、木村りさ、楠瀬丈生、桑島洋子、香	田貴之、櫻又浩、佐藤涼介、杉山洋子、高崎真治、髙橋
賀礼子、大森安代、小比賀賢、兼近由賀里、北泉秀樹、	稔、北條緑	昭五五池田康彦、石濱英暢、植松浩美、永正千里、亀井	村美津代、川原央、菊池和也、楠瀬昌作、桑嶋正寛、坂
平 四伊藤祐子、井上友紀、岩戸真紀、岩部美紀、大須	総子、山口真弘、山田晶一、山田英之、吉田年秀、吉田	渡辺稔、平尾宏	昭五一右川誠一郎、大西ゆかり、大林實温、岡悦子、岡
大川誠、田中和昇	蓮井博子、細川典子、増井都乃、松原淳、三木重昌、森	山本一郎、横井健治、吉川玄逸、吉本睦、RUTZ美香、	博子、板東靖人
介、安田敏男、安原正浩、山下雅洋、山下亮、渡邉克充、	子、滝口信、多田義孝、中田智博、西尾徹、沼原紀予、	三日月加奈、宮本浩美、森川一幸、森下佳子、山口裕視、	村雅彦、山本徳洋、和田孝子、和田邦子、住谷真、中条

(17) 令和5年7月8日 発行

玉 翠 会 報



毎年の会費納入ありがとうございます

半年に一度の報告として(10月初旬と1月初旬)、会費納入者一覧をホームページに掲載しています。 ご自身で当年度の会費を納入されたかどうかをご確認することができます。ホームページトップ画面 右下の、「会報ダウンロード」バナーよりお入りください。

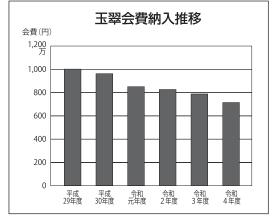
【今年度のパスワードは 6w3j7 です】

また、会員名簿については、H25年の発行を最後に(個人情報の保護を重視し)今後は発行しません。 学年での同窓会の案内など住所の打ち出し等が必要な場合は、内規により該当卒年の代議員全員の連 名の申請(要署名捺印)を頂けましたら、非電子データ(宛名シールなど)にてお渡しします。 詳しくは代議員様より事務局にお問合せください。

玉翠会費の納入方法は以下の5種類

同窓会活動を支える財源は、その殆どが卒業生より納めていただいている会費で運営されています。 近年の少子化による生徒数の減少で同窓会の財源も厳しい状況におかれています。会報発行や在校 生への奨学金制度・教育活動補助など玉翠会運営維持のため、是非多くの方々に玉翠会費納入のご協 力をお願いします。

- 1. 預金口座から自動振替 次頁をご参照ください。
- 2. 郵便局からお振込 同封、もしくは郵便局の払込用紙にてお振込できます。
- 3. コンビニ(またはスマホ決済)からお振込 会報を郵送でお受け取りの方のみ同封の振込用紙にて ご利用できます。
- **4. クレジットカード決済 (PayPal) にてお支払い** 玉翠会のホームページをご参照ください。
- 5. その他金融口座からお振込

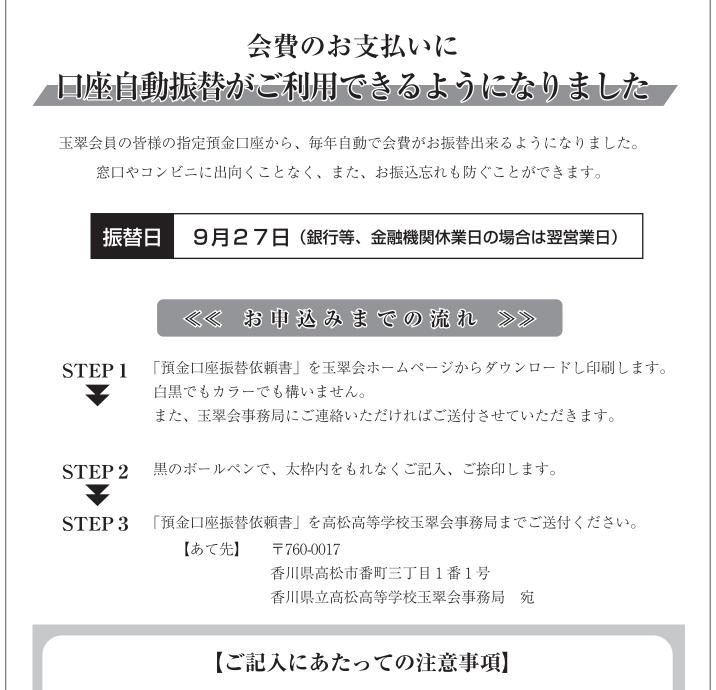


ゆうちょダイレクトの電信振替でゆうちょ銀行口座へ送金、また他の金融機関からも下記の口座 へお振込が行えます。振込手数料は各自ご負担願います。

入金処理の際は、必ず6桁の会員番号を振込人氏名の前に打電してください。納入者を特定出来 ない場合は「納入者不明」としてご入金させていただきます。

- 例)123456タカマツタロウ
 □座名義:香川県立高松高等学校玉翠会
 □座番号:ゆうちょ銀行 一六九(イチロクキユウ)店(169) 当座 0031115
 百十四銀行 本店 普通 0078326
- 詳しくはこちら:玉翠会ホームページ「年会費納入のお願い」https://gyokusui.org/kaihi





- 1. 押印は金融機関届出印でお願いいたします。不鮮明の場合は再提出をお願いする場合も ございますので、ご注意ください。
- 2. 預金者名はフリガナも必ずご記入ください。
- 3. お引落し額をご記入ください。(会費は一口2,000円からとなっております)
- 4. ご記入いただいた預金口座振替依頼書はコピーをとり、控えとしてご自身にて大切に保 管ください。
- 5. ご登録完了のご連絡はございません。書類に不備がなければ、8月5日(事務局着)までにご依頼の方は当年度の会費より、それ以降にご依頼された方は次年度の会費より自動お振替開始になります。
- 6. 通帳摘要欄には、「ギョクスイカイヒ」と印字されます。なお、一部金融機関では「ワ イドネット」(ゆうちょ銀行)または「ミツビシUFJファクター」と印字されます。